

進路だより（冬休み号）

1年次生のみなさん、高校に入学して最初の冬休みです。この冬季休業は12月24日（火）～1月16日（木）までで、24日間あります。この冬季休業の過ごし方は高校生活の充実や進路活動にも大きく影響を及ぼします。この貴重な時間に、事件や事故に合わないよう注意して安心・安全に過ごしながらも、自分自身の進路活動に貪欲に挑戦して欲しいと思います。自分のことを大切にするため、自分の将来を輝かせるために、進路指導部から次の3点についてお伝えします。

- 1 1月模試で結果を出そう！！ ～冬期講習の有効活用～
- 2 模試ってなんで受けるの？ ～模試の意義を考えよう～
- 3 高校の学びを振り返ろう ～苦手科目の克服と学習の見直し～

1 1月模試で結果を出そう！！ ～冬期講習の有効活用～

1年次生の冬期講習と1月模試は進学希望者の受験を推奨し、担任の先生方も「がんばろう」と声掛けをしました。残念ながら進学希望者全員の受験とはなりません。受講、受験を申し込まなかった生徒の一部からはマイナスの発言があったと聞いています。それを聞いて非常に残念な気持ちになりました。その理由は、学力を付ける過程、つまり学びを通して視野を広げ、将来の可能性を広げる意義に気づいてもらえなかったからです。講習や模試を効果的にするコツは教員ではなくみなさんの取り組み次第です。つまり、受講、受験していれば良いのではなく、いかに有効なものにしようと、自ら学び、考え、行動するかということです。その一つとして1月模試のGTZのUPを目標として取り組んでみましょう。つい先日までの模試面談も終わり、アドバイスももらったと思います。今ここにはいないライバルたちにも追いつき、追い越し、差をつけるためにも目標達成に向けて努力しよう。その積み重ねが、みなさんの人生にとってとても大きな1歩につながるからです。

2 模試ってなんで受けるの？ ～模試の意義を考えよう～

1月模試や小論文模試をみなさんは受験しています。教員になってから「めんどくさい」、「お金が高い」、「親に負担はかけられない」など受験をしないための理由をいくつも聞いてきました。その生徒達は模試の有益さ、効果をわかっていなかったと思います。そこで、模試を受験することの意義を考えてみましょう。

(1) データの蓄積

模試の受験によって、全国にいるライバル達の中で自分がどのくらいの位置にいるか、自分の学力が伸びているかを確認できます。そして、定期的に模試の受験を重ねてデータを蓄積し、常に最新情報を確認することで、可否の可能性を把握することができるので、非常に効果的です。

(2) 対策・傾向の把握

部活動や習い事であれば、本番前に練習試合や発表の準備をして、自分の強い点や弱い点を確認し、対策し、勝負に臨みます。受験においても同様で、模試を通して本番と同様の経験を積み、分析をしていきます。ここでポイントになるのは弱点を知り、補強することです。つまり、対策ができるということです。

さて、みなさんはこれまでの模試で対策をしましたか？ 返却後の模試の解きなおしをしましたか？ 弱点克服の取り組みをしましたか？ 模試の意義を理解し、上手に活用しましょう。

3 高校の学びを振り返ろう ～苦手科目の克服と学習の見直し～

後期期末考査は2月14日から始まります。冬休みが明けて3週間後です。祝日があったり、本校の推薦入試があったりして、冬休みが空けるとすぐに期末考査のことが話題になることは間違いありません。みなさんの1年間の成績（評定といいます）が決まってしまう。ここで出た数値は調査書に書かれます。特に、総合型選抜や推薦入試をはじめ、奨学金申請など、多岐にわたり大きな影響が出てくる非常に大切な数値です。この数値に影響を与えるものは、授業の取組や課題や作品の提出、そしてテストがあげられるでしょう。

この評定もみなさんの人生に大きな影響を与える数値の一つです。そのため、この冬休みで苦手科目を克服しましょう。そして、これまでの学習を見直し、評定UPにつなげましょう。

自分のこと、自分の将来を大切にするためにも、真剣に取り組んでください。期待しています。